

2026年7月1日

第20回全日本高校模擬国連大会 選考に関して

グローバル・クラスルーム日本協会
(公印省略)

選考方針について

弊協会では選考基準の策定にあたり、以下に掲げる弊協会の定款を参照しております。

第3条

当法人は、わが国の次代を担う高校生に対し国際理解のための学習方法として模擬国連活動の場を提供し、またその活動を広く普及及び発展させることを通して、国際連合及び国際関係に関する研究と国際問題の正確な理解又その解決策の探求を促進するとともに、豊かな国際感覚と社会性を有し未来の国際社会に指導的立場から大いに貢献できる人材を育成し輩出することを目的とする。¹

本年の選考においては、模擬国連会議経験数の多寡にかかわらず、上記定款の第3条に掲げられた人材の要素を正確に理解し、会議において実践することを求めます。

本年の選考のテーマは「人として大使として恥じぬ行動を」です。模擬国連会議においては、実際の国家を模擬するという性質上、議題や国家、国際関係についての深い理解が求められます。そのため、本年の選考においてはまず、「国際連合及び国際関係に関する研究と国際問題の正確な理解」を重視いたします。議題に対する各国や国際機関の取り組みを踏まえて、政策を提案することができているかを評価の基軸として設定します。また、会議中において他者と協働することによって現実世界におけるしがらみの突破をできる政策を立案することを求めます。この点が「解決策の探求」であります。

それに加えて、「人として大使として」行動することができているかを重点的に評価します。自国が論理的に正しいと主張する内容は、バックグラウンドの異なる他者にとっては受容不可能である可能性を真摯に受け止め、この可能性を限りなく低くするために各国大使として以上に礼節と尊敬を持った行動をしているかについて着目します。一方で、論理的整合性の欠けた「傾聴」に対する批判的な姿勢も同時に求めます。

¹ 一般社団法人 グローバル・クラスルーム日本協会 定款

(https://drive.google.com/file/d/1K_Hv4EZNpFUY_iUaht4MtUkYOMPXteWc/view?usp=drivesdk)

全日本高校模擬国連大会 予選会

◆選抜方法

設定される 12 議場（予定）のうち、各議場から上位 7 組（予定）が通過。

◆選考過程で測られる能力・資質

予選会では、以下に掲げる模擬国連に関する基礎的な能力及び資質等を備えていることを期待します。なお、ここであげられる資質は普遍的なものであり、昨年度と大枠として変化はありません。

- 会議の進行に関する規則及び設定された議題・議場並びに会議に参加する国または地域について理解していること
- 担当の国の議場における役割及び会議における利益を理解し、これを追求する姿勢を身につけていること
- 会議のいずれの場面においても、他者を傾聴・理解する姿勢を示し、また自身の意見を相手に伝える意欲及び能力を有していること
- 国際社会の課題に対して真摯に向き合い、実質的かつ建設的な議論・交渉を行うこと
- 他者への配慮・礼儀を備えていること

全日本高校模擬国連大会 本大会

◆選抜方法

設定される 2 議場のうち、各議場より最優秀賞に 1 チーム、優秀賞に 1 チーム、奨励賞に 1 チーム、20 回記念特別奨励賞に 1 チーム、ポジションペーパー賞に 1 チームを選出する。

◆選考過程で測られる能力・資質

本大会では、上述した模擬国連に関する基礎的な能力・資質等に加え、以下に掲げる能力・資質等を十分に高い水準で備えていることを期待します。なお、議題によらず、求められる能力・資質に関しては昨年度と同様の内容を記載します。

- 現代社会の新たな課題及び普遍的な人権の歴史的合意について論理的かつ批判的に向き合い、その本質を見極めること
- 一般的・抽象的な議論に埋没することなく、担当国の固有の経験や立場に根ざした具体的主張を展開し、議論に対して代替不可能な貢献（唯一性）を実現すること
- 発言量の多寡にかかわらず、議論・交渉の状況を冷静に俯瞰したうえで実質的かつ建設的な議論・交渉の進行及び達成に大きく貢献すること
- 担当の国の主張と論拠のみならず、他国の意見にも真摯に耳を傾け、互いの理想の公共益・国益の対立構造を理解した上で双方が納得できる合意を形成すること
- 他者に対して抑圧的・高圧的な姿勢を示すことなく、礼節を持って接し、効果的な協働を主導すること
- 他者との協働の過程によって、担当国の主張を昇華すること

※なお、選考において、DR 作成・提出の主導は即座に評価に直結するわけではありません。